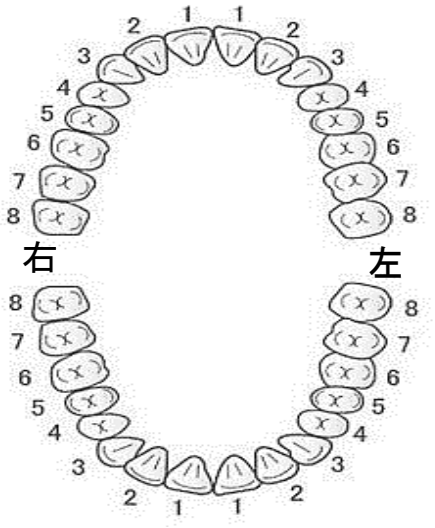
熊本市節目年齢歯科健診　結果票

（令和5年度）

様　　健診日　　年　　月　　日

現在歯・喪失歯の状況



／：健全な歯　C：要治療のむし歯
○：治療済みの歯　◬：入れ歯などの歯
△：入れ歯などが必要な歯　×：喪失歯・欠損歯

口腔清掃状態

1. 良好（歯垢がほとんど認められない）
2. 普通（1.3以外）
3. 不良〔歯垢が1歯以上の歯の歯肉縁に歯面の1/3を超えて認められる〕

歯石の付着

1. なし
2. 軽度（点状）あり
3. 中等度（帯状）以上あり

その他の所見

1. 楔状欠損
2. 歯列咬合不正
3. 顎関節
4. 粘膜
5. 義歯不適合
6. その他〔　　〕

あなたの歯の数の合計　　本

1人平均現在歯数(本)

年齢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～
総数	28.0	27.6	26.4	25.3	23.9	21.6	19.7	18.0	15.3	10.7
男	28.0	27.6	25.8	24.5	23.7	21.5	18.6	18.5	15.1	12.0
女	28.0	27.6	26.8	25.9	24.0	21.7	20.7	17.6	15.5	9.5

出典:平成28年度歯科疾患実態調査(厚生労働省)

結果の判定

[　] **良い状態です**　　丁寧な歯みがきを続け、定期歯科健診を心がけてください。

[　] **歯周病を疑う所見があります**
- [　] 歯肉に軽い炎症があります。
- [　] 歯みがき方法について理解しましょう。
- [　] 歯石を取りに歯科医療機関を受診しましょう。
- [　] 歯周病と生活習慣や全身の病気との関連について理解しましょう。

[　] **詳しい検査や治療が必要な状態です**
- [　] 浅い歯周ポケットが認められました。
- [　] 深い歯周ポケットが認められました。
- [　] むし歯があります。
- [　] 歯が抜けたままになっています。
- [　] 生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療が必要です。
- [　] その他の所見があります。

生涯にわたって自分の歯で食べることができるように、80歳までに20本以上の歯を保ちましょう。歯が少なくなっている方も、今ある歯を大切に保つように努めましょう。（永久歯は、「親知らず」まですべて生えると32本です。）歯周病は、歯を失う主な原因であり、生活習慣病の糖尿病をはじめ、心臓病（狭心症・心筋梗塞等）、脳梗塞、関節リウマチ、内臓型肥満、早産・低体重児出産、肺炎等に深く関係していることも分かってきています。健康を損なうことのないよう、今回の節目年齢歯科健診を機会に、かかりつけの歯科医を持ち、少なくとも年に2回は定期歯科健診を受けましょう。

［熊本市への連絡事項（健診後の予定）］
1.定期健診について受診勧奨
2.当医療機関にて継続予定
3.他医療機関(歯科)を紹介（紹介先　　）
4.他医療機関(医科)を紹介（紹介先　　）

歯科医療機関名
所在地
名称
電話番号
歯科医師名

○受診者の個人情報・健診結果は、個人を特定できないデータとして活用することをご了承ください。